



教員および教育関係者のみなさまへ

過去の戦争を知り、 未来のかたちを考えるきっかけをつくるための ワークショップ授業のご案内

学校や教育機関など、200回以上の実績があります

戦争体験者のメッセージ記録と
ワークショップを通して過去と向き合う。
未来に向けて、いま私たちにできるのは…
アジアと日本、若者と戦争を知る世代をつなぎ
懸け橋を築いていくこと。



授業などで
導入できる
ワークショップ！
進め方や実績は次のページで！



戦争体験者のメッセージ記録とワークショップ

NPO法人ブリッジ・フォー・ピース

BRIDGE FOR PEACE

学校の授業に、BFPのワークショップ授業を取り入れてみませんか？

POINT 1

ワークショップは4ステップで進行
授業1コマ分に組み込めます。

1

アイスブレイキング

- 団体およびBFPファシリテーター自己紹介
- ワークショップ実施目的説明
- 基礎情報の理解

2

ビデオメッセージ上映

- テーマに合わせたビデオメッセージの上映

3

ディスカッション

- ディスカッション・ポイントの説明
- グループ毎に発表
- ファシリテーターによるフォロー

4

クロージング

- まとめ



授業枠	総合の時間、社会科、歴史、NPO・NGO論、人権、情報、生涯学習など
対象	小学校、中学校、高校、大学など
時間	50分～90分(連続授業等、応相談)
テーマ	授業の流れに沿い、目的や狙いを十分にうかがった上で設定します 生きる意味・命の大切さ、国際理解、異文化コミュニケーション、対立解決、多様性、メディア、アジア太平洋戦争(沖縄戦・フィリピン戦)、戦時中の暮らしや教育など
人数	最少催行人数10名。全学年対象など、数100名単位でも可能です
講師	基本的に1～2名の派遣(BFP会員)ですが、実施規模によって調整します
料金	お気軽にご相談ください。東京以外に地方拠点もありますので、遠方の場合でも遠慮なくお問い合わせください
教材	1 BFP製作による元日本兵および戦争被害者のビデオメッセージ映像(10分～30分) 2 BFPワークショップ・シート

POINT 2

きちんと記録を残し、お渡しします。

1

ワークショップ実施レポート

- シートに記入された学生・生徒の意見や感想などを全てデジタルデータに変換。
- ワークショップ実施レポートとして納品します。

2

ワークショップ実施時の撮影写真

- 撮影した写真をデジタルデータで納品します。



※ワークショップの様子(映像)はこちらからご覧いただけます。
<http://bridgeforpeace.jp/school/video>

お問合せ & 連絡先

お問合せやご相談は、お気軽にお寄せください。

NPO法人ブリッジ・フォー・ピース BFP「学校へ行こう」プロジェクト事務局 担当：中村
〒107-0062 東京都港区南青山5-17-2-5F 表参道プラザ
TEL 080-4439-5500 MAIL office@bridgeforpeace.jp

お問い合わせ専用フォーム <http://bridgeforpeace.jp/inquiry>

200回以上、学校などでワークショップを開催。 学生・生徒からも前向きな感想が寄せられています。



学生・生徒の感想

- 今日の授業でとても大きな何かを感じました。昔から「戦争はしてはならない。二度としてはいけないんだ」ということだけを習ってきました。実際どのようなことが起こっていたかは何も知りませんでした。でも、今日初めて体験者の生の声を聞くことで、現実味を帯び、戦争は今後絶対に起こしてはいけないと実感できました。
- フィリピン戦の概要をクイズ形式で学ぶことで、歴史がずっと入ってきました。グループで話し合えたことも、普通の授業とは雰囲気異なり、日本人としてこれから世界とどのように向き合っていけばよいか、もっと知りたくなりました。
- 私たちは戦争を経験していないけれど、これから後世に語り継ぐには、私たちが知識を深め、相手の国の立場にもなって考えたものを残していかなければならないと思いました。
- 戦争体験者の話が聞ける機会は、全くと言ってよいほどないし、テレビ用に編集されていないので、本当の生の声という感じがした。
- 過去を変えることは出来ません。しかし過去を踏襲し、未来を変えることはできます。戦争のない世界を創り出したいと思いました。
- 戦争については本などでしか知っておらず、“本当の戦争”というものがわかっていなかったと思う。今回ワークショップ授業を受けて、戦争がどんなものかリアルな話を聞くことができ、少し自分の中での考えが変化した。
- 機会があれば、アジア諸国に足を運んで、過去の歴史を詳しく学びなおしたいと思いました。一つの視点ではなく、多角的な視点を持って物事を考えていきたいです。

先生の感想



戦争体験者に向き合い、過去を未来につなげようとしているBFPのワークショップ授業から生徒達が受け取ったのは「未来へのバトン」でした。そして、それは、世代や国境を越えて「命を大切に作る心」なのだと思います。

新井敦子先生(高校教員)



これまでの実績

三郷瑞穂中学校、綾瀬西高校、有馬高校、甲南高校、国際基督教大学(ICU)高校、橘学苑高校、松原高校、青山学院大学、麻布大学、江戸川大学、桜美林大学、お茶の水女子大学、学習院大学、関西大学、慶応義塾大学、恵泉女学園大学、埼玉大学、成蹊大学、聖心女子大学、清泉女子大学、都留文科大学、東海大学、東京学芸大学、東京経済大学、東京女子大学、同志社大学、日本大学、日本外国語専門学校、日本女子大学、一橋大学、広島国際学院大学、フェリス学院大学、明治大学、横浜国立大学、立教大学、立命館大学、和光大学、早稲田大学などの中学、高校、大学。

より多くの学校で、子どもたちに考えるきっかけを。ぜひ私たちにチャンスをご覧ください。

ブリッジ・フォー・ピースの想い

ブリッジ・フォー・ピース(BFP)は、フィリピンの戦争犠牲者と元日本兵の方々の体験を聞き取り、ビデオメッセージによって両者を結ぶ活動から始まった団体です(2004年設立)。

活 動の中心は【過去の戦争を知り、未来のかたちを考えるきっかけをつくるワークショップ】の開催。これまでの開催総数は215回。11,384名の方々を対象に実施しました。BFPで撮りためた元日本兵の方々の証言メッセージは、150名以上です。それら生の声に触れることで、学生の皆さんにとって過去の戦争をより身近なものとして捉えていただけたらと願っています。

異なる意見が出会い、参加する一人ひとりによって相乗効果がもたらされるワークショップを通して過去の戦争を当たり前の教養として捉えることができる人材を育成したい。これが私どもBFPのミッションです。



お申し込み

ホームページやFAX、郵送でお申し込みできます。
折り返し担当者よりご連絡します。

インターネット申し込み

http://bridgeforpeace.jp/school

ワークショップ専用フォーム

FAX送信先

03-6781-3101

郵送先

〒107-0062 東京都港区南青山
5-17-2-5F 表参道プラザ
NPO 法人ブリッジ・フォー・ピース

お申し込みからワークショップ実施まで

- ① お申し込み インターネットから、もしくは「ワークショップ授業・利用申込書」に記入の上、FAXか郵送にてお送りください。
- ② 打ち合わせ お申し込み受付後、電話又はメールで授業テーマなどの詳細をおうかがいします。必要であればご説明にうかがいます。
- ③ ワークショップ当日 ワークショップ終了後、2週間以内に記録資料などを納品します。

---(切り取り) FAXや郵送の場合は切り取ってご使用ください。---

ワークショップ授業・利用申込書

NPO 法人ブリッジ・フォー・ピース御中

お申し込み日 20 年 月 日

ワークショップ授業に申し込みます。

学校名(正式名称)

お申込者氏名(ふりがな)

ワークショップ開催場所

ご住所 〒

都道
府県

市区
町村

学校名

棟

教室
番号

設備

DVD プレイヤーに接続した
プロジェクターやテレビ

あり なし

パソコン

あり なし

マイク

あり なし

黒板・ホワイトボード

あり なし

机・イス

移動可能 移動不可

その他の設備

希望開催日時 ※遅くとも開催1ヶ月前のお申し込みをお願いしています。

第1希望 月 日() 開始時間 時 分 終了時間 時 分

第2希望 月 日() 開始時間 時 分 終了時間 時 分

打ち合わせについて

メール希望 電話希望 面談希望

貴校において打ち合わせの場合、
交通費はご負担ください

ご要望(テーマ、授業のねらいなどご自由にお書きください)

連絡ご担当者氏名(ふりがな)

担当・学部・部署名など

TEL

FAX

対象人数

人

対象学年

年

ご予算※

円

メールアドレス

※授業料の受取は講師本人(個人)ではなく、当団体(法人)とし、実施後にお振込みをお願いしています。
※請求書が必要なご要望がありましたら、合わせてご記入ください。